ソレオ シリーズ
バリアフリー
バスルーム シリーズ
リノビオ シリーズ

システムバスルーム
お手入れガイド

システムバスルームを美しく、また快適にご愛用いただくために、お手入れ前にはこの「お手入れガイド」をよくお読みいただき、正しく安全にお手入れしてください。
※お手入れを定期的にされない場合、商品の性能が十分に発揮できないことがあります。
以下の内容は取扱説明書に掲載しています。取扱説明書も合わせてご覧ください。（安全上のご注意、ご使用方法、故障かな？と思ったら、交換部品のご案内、アフターサービス、保証書）

このお手入れガイドや取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切なお手入れや使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。
※このお手入れガイドと取扱説明書は、必要なときにすぐ取り出せるところに保管してください。
※転居される場合、次に入居される方に、このお手入れガイドと取扱説明書をお渡しください。

株式会社 LIXIL

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは

お客さま相談センター
TEL 0120-1794-00
受付時間　平日　9:00～18:00
土日・祝日　9:00～17:00
（夏期、年末年始の休みは除く）
FAX 0120-1794-30
※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話等ではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。
TEL 0562-40-4050　FAX 0562-40-4053

修理のご依頼は（取扱説明書の「アフターサービスについて」をお読みください）
お求めの販売店または
（株）INAXメンテナンス 修理受付センター（365日受付＆修理）
TEL 0120-1794-11
受付時間　9:00～20:00
FAX 0120-1794-56
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

●当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さまなどの個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

インターネット・ホームページ・アドレス　http://www.lixil.co.jp/

取扱店

GPU-0322（11051）

袋:PE
ヒモ:PVC

しっかりお手入れで、いつもキレイ、快適な浴室を保ちましょう。

浴室は体を清潔にするだけでなく、ホッとくつろいだり、
家族でワイワイ入浴したり、心豊かなひとときが広がる素敵なスペースです。
そんな浴室は、いつもキレイであって欲しいもの。
この「お手入れガイド」は、快適なバスタイムへの思いを込めて、
浴室をキレイに保つお手入れ方法をご紹介していきます。

「お手入れガイド」をよく読み、正しいお手入れをしてください。

以下の表示マークは安全に関する重要な内容を表しています。表示マークがついている内容は必ず守ってください。

■ 表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を
次の表示マークで区分し、説明しています。

警告 取扱いを誤った場合に、使用者等が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意 取扱いを誤った場合に、使用者等が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

■ 絵表示について

お守りいただく事項の種類を
次の絵表示で区分し、説明しています。

注意しなさい!

してはいけません!

分解してはいけません!

指示した場所に触れてはいけません!

指示通りにしなさい!

■ お手入れの表示について

本書では、お手入れの頻度と使用する
道具・洗剤を、次のマークで表しています。

●お手入れ頻度

●道具・洗剤（詳しくはP.5をご参照下さい。）

※取扱説明書、および水栓、換気乾燥暖房機等の専用の取扱説明書、本体表示の内容もご覧ください。
※本体表示（ラベル）は、はがさないでください。

もくじ

商品シリーズによりお手入れ方法が異なる場合があります。
取扱説明書表紙でお使いの商品シリーズをご確認ください。
□システムバスルーム　ソレオ
□システムバスルーム　バリアフリーバスルーム 1116
□システムバスルーム　リノビオ

キレイに保つお手入れのコツ

お手入れのコツは「汚れや場所によって洗剤・道具を使い分ける」、「汚れは、種類とお手入れ方法を確認してすぐに落とす」、「毎日＋定期的なお手入れを上手に組み合わせる」です。

浴室は、人の身体から出る皮脂や石けんカス、水道水等による汚れやカビ等、さまざまな汚れが付きやすい場所です。
汚れは放っておくと、固くガンコな汚れになり、取れなくなることもあります。
キレイを保つために「お手入れのコツ」をしっかり実行しましょう。

お手入れ前の確認

お手入れの前に道具を用意し、浴室の汚れやお手入れ方法を確認してください。

用意するもの

お手入れに必要な洗剤や道具を用意します。

ポイント

洗剤、道具やその使い方によっては、浴室を傷めることがあります。注意しましょう。

5·6 ページ

汚れの種類とお手入れ方法

汚れの種類により適した洗剤や道具が異なります。
放っておくと取れなくなる汚れもあるのでご確認ください。

ポイント

汚れを見つけた場合は、「汚れの種類とお手入れ方法」でお手入れ方法を確認してすぐに落としましょう。

7·8 ページ

お手入れの基本は　毎日＋定期的なお手入れ

浴室のお手入れはガンコな汚れを作らないことが大切です。
毎日のお手入れと定期的なお手入れを効果的に組み合わせましょう。

毎日のお手入れ方法

毎日の汚れや汚れの原因を、その日のうちに落とします。

ポイント

浴室がまだ濡れている間に、その日の汚れ（皮脂や石けんカス等）を落とし、水分をふきとりましょう。

9·10 ページ

定期的なお手入れ方法

「毎日のお手入れ」をしても残ってしまう汚れを、「定期的なお手入れ」で落とします。

排水トラップ等は、商品の性能を十分に発揮するために、必ず定期的にお手入れしてください。

ポイント

「お手入れの目安」（P.11·12）を参考に、入浴回数や汚れ具合によって計画的にお手入れしましょう。

11～48 ページ

浴室にカビが・・・

カビについて知り、カビを生えにくくしましょう。

どうしてカビが生えるの？

カビは微生物の一種で真菌と呼ばれています。カビが生えるには①温度（20～30℃）、②湿度（70％以上）、③養分（皮脂、ホコリ等）が必要です。
浴室はこの条件をみたしやすく、カビが生えやすい場所の1つなのです。

カビを生えにくくするために

入浴後に、シャワーでその日の汚れ「養分」を洗い流し、水のシャワーで浴室内の「温度」を常温程度に下げます。
その後十分に換気（窓を開けるか換気扇を回す）して「湿度」を下げます。

もし、カビが生えてしまったら

お掃除でカビ以外の汚れを落とし、浴室が乾いているときに…
①ゴム手袋、マスク、保護メガネ等を着用します。
②浴室のドアを閉めて窓を開けるか、換気扇を回します。
③カビが生えている場所にカビ取り剤をスプレーします。
④しばらくおいて水で洗い流します。

※カビ取り剤・防カビ剤を使用する場合は、必ず注意書きをよく読んで正しくお使いください。
※カビ取り剤は長時間放置したり、洗剤の洗い残しがないようにしてください。
　変色や変質、金属のサビ、ゴムの劣化の恐れがあります。
※キレイ鏡にはカビ取り剤が付かないようにご注意ください。防汚効果が失われます。
　カビ取り剤が付いてしまった場合は、すぐに洗い流します。
※カビの上に汚れが付いていたり、ぬれているとカビ取り剤の効果が低下します。
※カビやカビ取り剤に関する詳細は「日本家庭用洗浄剤工業会HP」（http://www.senjozai.jp/index.html）をご覧ください。（HPは変更される場合があります。）

用意するもの

汚れの種類や場所によって洗剤・道具を使い分けましょう。
少しでも楽にお手入れしたい方はおすすめ便利グッズもお試しください。
また、使ってはいけない洗剤・道具もありますのでご注意ください。

道具

種類		使う場所
スポンジ	大きなやわらかいスポンジ(ウレタンフォーム製等)がお勧めです。 「おすすめ便利グッズ」メラミンフォーム	浴槽、風呂フタ、壁、タイル床、排水トラップ内部、鏡、収納部、カウンター、水栓、照明カバー
柄付スポンジ	柄の付いたスポンジは、天井等のお掃除に便利です。	天井、壁(手の届かない場所)
やわらかい布	ぞうきんはもちろん、使い古したタオルやTシャツ等。 「おすすめ便利グッズ」水切りワイパー、吸水性の高い洗車用タオル	握りバー、タオル掛、収納部、カウンター、ドア、照明カバー、換気扇・暖房機フロントカバー・リモコン
歯ブラシ	使い古しの毛先が広がっているものをお使いください。	追いだきロカバー、風呂フタ、排水口ヘアキャッチャー、排水トラップ内部、水栓ストレーナー、ドア下枠溝・ヘアキャッチャー
浴室用ブラシ	先割れ加工(樹脂製の毛先を細く裂いた状態)のブラシをお使いください。	床
ゴム手袋	中に綿素材の手袋をして、ゴム手袋をすると肌荒れ防止になります。	浴槽下、換気扇本体、カビ取り剤使用時、その他洗剤使用時

洗　剤

種類		洗剤(例)	注意
浴室用合成洗剤(中性)	浴室の汚れに強い成分が配合されています。 「おすすめ便利グッズ」スーパークリーナー万能Jrくん	お風呂のルック(ライオン)、マジックリン泡立ちスプレー(花王)	※洗剤が残ると変色やシミの原因となります。 ※濃縮タイプの洗剤は、原液のまま使わないでください。
浴室用クリームクレンザー	微粒子の研磨剤が入ったクリーム状の洗剤です。	クリームクレンザージフ・バスクリーナー(ユニリーバ)、お風呂のルックみがき洗い(ライオン)	※こすりすぎるとキズが付いたり、逆にツヤが出すぎたりすることがあります。
カビ取り剤	カビを分解して取り除きます。	カビキラー(ジョンソン)、ルックヌメリ&カビ速攻バスター(ライオン)	※長時間放置したり洗剤が残ると変色や変質、サビ、ゴムの劣化の原因となります。 ※カビ取り剤を使用する場合は、P.3「浴室にカビが…」をご参照ください。
風呂釜洗浄剤	発泡する泡で風呂釜や配管内部の汚れを落とします。	ジャバ〈1つ穴用〉〈2つ穴用〉(ジョンソン)	

※洗剤(例)も汚れの種類や状態・使い方によっては効果がなかったり、浴室を傷めることがあります。

おすすめ便利グッズ

メラミンフォーム (柄付のものもあります。)	水を含ませてやさしくこすります。 ※強くこするとキズが付くことがあります。 ※水栓の印字部分は消える恐れがあるので使わないでください。 ※カウンター等光沢のある樹脂製部品、キレイ鏡には使わないでください。
ダイヤモンドパッド (鏡の水アカ取り専用)	※水をつけながら少しずつこすってください。 ※強くこするとキズが付くことがあります。 ※キレイ鏡には使わないでください。
巻フタ用ブラシ、スポンジ	巻フタの凹凸形状のブラシやスポンジなら、巻フタのお手入れも簡単です。
水切りワイパー(スクイジー) 洗車用タオル	水分を素早く取り除くことができ、ぞうきんをたくさん使わずにすみます。
スーパークリーナー万能Jrくん (マルシン)	固形の植物性中性クリーナーです。こびり付いた汚れや、もらいサビにも効果があります。

✕ 使わないで

表面にキズをつけ、傷めてしまう	●粉末クレンザー、磨き粉等研磨力の強いもの ●硬いスポンジ(金属タワシ、ナイロンタワシ等)、毛先の硬いブラシ
表面が変色したり、シミになる	●溶剤(ラッカー・シンナー等)、薬品類(アルコール・塩酸・アンモニア・苛性ソーダ等)、およびこれらを含む洗剤・洗浄剤 ●「酸性」の洗剤、「アルカリ性」の洗剤(カビ取り剤を除く)(※) ●オレンジオイル配合の洗剤(樹脂部品以外へは使えます)

※「弱酸性」、「弱アルカリ性」の洗剤はご使用いただけますが、浴槽、床、壁、メッキ部品等が変色したり、金属がサビることがあります。
事前に目立たないところで確認の上、また長時間放置したり、洗剤の洗い残しがないようにご使用ください。
キレイ鏡は防汚性能が落ちるため使わないでください。

警告

- カビ取り剤等の使用中、使用後は必ず浴室のドアを閉めて十分に換気してください。

- カビ取り剤を使用の際は、肩より上にスプレーしないでください。また、顔や服に飛沫がかからないようにご注意ください。
- 塩素系の洗剤、洗浄剤と酸性タイプの洗剤、洗浄剤を混ぜて使用しないでください。有害な塩素ガスが発生します。(同時使用および前後の使用でも塩素ガスが発生します。)
- カビ取り剤を使用の際は、マスク・保護メガネ・ゴム手袋等を着用してください。

注意

- 洗剤・道具の注意書をよく読みご使用ください。

- お手入れのときは必ずゴム手袋等で保護してください。
※突起部分やすき間等でケガをする恐れがあります。
- 洗浄剤は、使用されている給湯器に適したものを使用してください。
- 固形、または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤を使ったり、近づけたりしないでください。
※金属やゴムが腐食、劣化して漏水の原因となります。
- 化粧品、アロマオイル等の薬品が付着した場合は、すぐに水できれいに洗い流してください。
※放っておくと漏水や変色、割れ等の原因となります。

お願い

●使わないで
浴室、薬品類等「×使わないで」に記載のあるものは使わないでください。

●中性洗剤以外を使用される時は
浴室用合成洗剤(中性)以外を使用する場合は、事前に目立たないところで変色等ないか確認してください。

●金属類を放置しないで
ヘアピン・カミソリの刃等を浴室に放置しないでください。
※サビが付いてとれなくなる場合があります。

●吸盤付製品の使用について
吸盤付タオル掛、吸盤付石けん置き等を使用しないでください。
※変色する恐れがあります。

●洗剤を長時間放置したり、残さないで
どのようなタイプの洗剤・洗浄剤でも、浴槽や床・壁・カウンター等に塗布後すみやかに水でよく洗い流してください。
※洗剤分が残っていると表面が変色したり変質することがあります。

●カビ取り剤を使用される時は
カビ取り剤等を使用する場合は、必ず注意書きを読み正しくお使いください。また、使用後はすみやかに水でよく洗い流してください。
※カビ取り剤が残っていると表面が変色・変質することがあります。
また、水栓金具やドア枠等にサビが生じたり、排水栓のゴム部が劣化することがあります。

●化粧品(毛染め剤等)の使用について
浴室内で毛染め剤やマニキュア除光液を使用されるときは、必ずシート等で床等を保護してください。
※付着するとシミになる場合があります。

汚れの種類とお手入れ方法

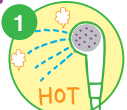
汚れを見つけたらこのページで種類とお手入れ方法を確認し、すぐに落としましょう。
放っておくと取れなくなる汚れもありますのでご注意ください。

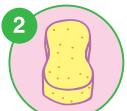
汚れの種類	汚れの色	汚れやすい場所	汚れの特徴	汚れの原因	予防方法	お手入れ方法	注意する点
水アカ 湯アカ	白 褐色	浴槽（水面部） 水栓 ドア 鏡 シャワーフック 等	表面が白っぽく、ざらついている汚れです。	「水アカ」は水道水に含まれるケイ酸がたまった汚れです。 ※水に溶けないため、放っておくとガンコな汚れになります。 「湯アカ」は皮脂、石けんカス、ホコリ等が結びついた汚れです。	毎日 のお手入れをします。 ※詳しくは「毎日のお手入れ方法」（P.9･10）をご参照ください。	浴室用合成洗剤（中性）をかけ、2～3分おいてスポンジでこすり、洗剤を洗い流します。 ポイント 浴室用合成洗剤（中性）で落ちなかった汚れに、浴室用クリームクレンザーを使います。 ※キレイ鏡を除く。	※浴室用クリームクレンザーを使う場合は、表面にキズを付けたり、こすりすぎてツヤがなくならないようにご注意ください。 （特に樹脂･アルミ製部品はキズが付いたり、光沢がなくなりやすいのでご注意ください。） ポイント 浴室用クリームクレンザーを使う時は強くこすらず、汚れ部分を4～5回磨いては水をかけます。これを繰り返して少しずつ汚れを落とします。 ※キレイ鏡の場合は、クリームクレンザーを使わないでください。
金属石けん （カルシウム石けん、マグネシウム石けん等） （銅石けん等）	白 灰 青緑	床 浴槽まわり ドア 鏡 カウンター シャワーフック 等	ざらついた汚れや、固い汚れ、粘りのある汚れです。	水道水に含まれるカルシウムやマグネシウム、銅等の金属イオンと石けん成分や皮脂が結びついてできた、溶けない汚れです。			※銅イオンは新築当初等、銅管が新しい時に溶け出しやすく、通常は数ヶ月程度でおさまります。 （水質によっては長びくこともあります。）
カ　ビ	黒 紫 ピンク	全体	条件がそろえば浴室のあらゆる場所に生える黒や紫、ピンクの汚れです。	「温度」（20～30℃）、「湿度」（70％以上）、「養分」（石けんカスや皮脂、ホコリ等）がそろうとふえやすくなる微生物の1種です。		カビ取り剤をかけ、しばらくしてから水でよく洗い流します。 ※キレイ鏡にカビ取り剤が付かないように注意し、付いてしまった場合はすぐに洗い流します。	※カビ取り剤をかけて放置したり、洗剤が残ると変色や変質、サビ、ゴムの劣化の原因となります。 ポイント カビ取り剤はお掃除後、浴室が乾燥している状態で使うと効果的です。
ピンク ヌメリ	ピンク	排水口周辺 床 壁（下部）	ピンク色のヌメリ汚れです。	皮脂等を養分にして酵母がふえてできた汚れです。 ※放っておくと色素が沈着して取れなくなります。		浴室用合成洗剤（中性）をかけ、2～3分おいてスポンジでこすり、洗剤を洗い流します。 ポイント 浴室用合成洗剤（中性）で落ちなかった汚れは、カビ取り剤を使います。	ゴシゴシ洗いはやめて！ 硬めのスポンジやブラシでゴシゴシ強くこすらないでください。表面の細かなキズにカビの菌糸等、汚れが入り込み、落としにくくなります。
ヌメリ	――	排水口周辺 等	排水口周辺にできるヌルヌルした汚れです。	水がたまっている排水口等に細菌がつき、汚れを栄養にふえるとき、ヌメリと臭いが発生します。	週に1回 月に1回 のお手入れをします。 ※詳しくは「床排水トラップ」（P.20～24）をご参照ください。		
もらいサビ	赤茶	床 浴槽まわり カウンター 等	赤茶色のザラザラした汚れです。	ヘアピン、カミソリ等鉄製品や水道水に含まれる微量の鉄粉、外部から入った鉄粉等のサビが付いた汚れです。	サビるものを濡れたまま浴室に放置しないようにします。	浴室用クリームクレンザーで表面にキズを付けないように、やさしくこすり落とします。	

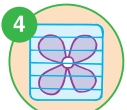
毎日のお手入れ方法

お手入れの基本は、毎日+定期的なお手入れです。
浴室を使い終わったら、汚れを落とし、水分もふきとっておきましょう。

基本はシャワー＋スポンジ、ぞうきんで…

毎日

1 少し熱めのシャワーをかけて汚れを洗い流します。

※高い場所から順番にかけます。
※床から1mの高さまでは、特に汚れが付きやすいので念入りに洗います。
※ドアには直接水をかけないでください。水がドアの外へ飛び散ることがあります。

2 こびり付いた汚れはスポンジでやさしくこすり落とします。

3 水のシャワーをかけて浴室内の温度を常温程度に下げます。

4 残った水分をふきとり、窓を開けるか換気扇を回します。

※十分に換気してください。（常時(24時間)換気機能付き換気設備の場合は、強運転やブロー換気をします。）

豆知識

毎日のお手入れは、入浴あとが効果的

浴室の汚れには、乾燥すると濃縮されてガンコな汚れへと変化するものもあります。
毎日のお手入れは、入浴後の濡れている間にした方が、汚れを楽に落とせます。(カビは除きます。)

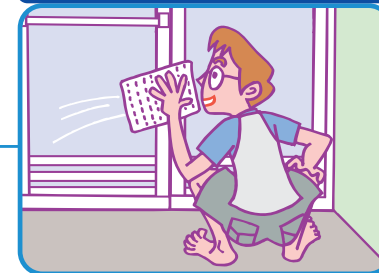
※カビ取り剤を使う場合は、「汚れの種類とお手入れ方法」(カビ／注意する点)(P.7･8)をご参照ください。

水栓・鏡

汚れが目立ちやすいので、シャワーで汚れを洗い流し、乾いた布で水をふきとります。

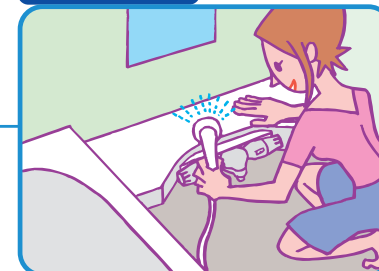
収納部

シャンプーやリンスの容器底に付いた液だれを洗い流します。

ドア・照明・換気扇、暖房機

湿らせた布でふき、乾いた布で水をふきとります。
※ドア枠のゴミは取り除きます。
※透明面材は汚れが目立ちやすいので、汚れと水分をよくふきとります。

壁

こびり付いた汚れはスポンジでやさしくこすり落とします。

カウンター

カウンターはもちろん、カウンターと壁、浴槽の間にもシャワーをかけてすき間の汚れを洗い流します。

浴槽・風呂フタ

浴槽はもちろん、浴槽と壁の間にも熱めのシャワーをかけてすき間の汚れを洗い流します。
こびり付いた汚れはスポンジでやさしくこすり落とします。

床

こびり付いた汚れは浴室用ブラシでこすり落とします。

ポイント

落ちにくい汚れには、浴室用合成洗剤(中性)をお使いください。
※ドア、握りバー･収納等のアクセサリー類、照明、換気扇･暖房機は浴室用合成洗剤(中性)を適量薄めてご使用ください。

黒色等濃色の部品は水アカ等の汚れが目立ちやすいので、汚れと水分をよくふきとります。
また、キズも目立ちやすいのでお掃除のときはご注意ください。

お手入れの目安

毎日＋定期的なお手入れをすれば、ガンコな汚れはより付きにくくなります。
また、排水トラップ等は、定期的にお手入れしないと商品の性能が十分に発揮できません。

お手入れの目安を参考に定期的なお手入れ計画をたてます。
詳しいお手入れ方法は右端の参照ページをご確認ください。

（赤枠）定期的にお手入れをしないと、商品の性能が十分に発揮できないため、ご注意ください。 必ず、お手入れしてください。

お手入れ目安		毎日	週に1回	月に1回	半年に1回 または 汚れが目立ってきたら	注意する点	
浴槽まわり	1 浴槽	毎日のお手入れ方法(P.9·10)をご参照ください。	やさしくこすります。		クリームクレンザーで4~5回磨いて水をかける、の繰り返しで落とします。	※注1	P13
	2 風呂フタ		細部は歯ブラシ等で落とします。	おすすめ 月に1回程度、陰干しして乾燥させることをお勧めします。			P13
	3 追いだき口(循環口)		フィルターの汚れを落とします。	風呂釜洗浄剤で風呂釜内部を洗浄します。			P14
	4 浴槽排水口		排水栓、排水コアの汚れを落とします。		(プッシュワンウェイ排水栓)押ボタンの汚れを落とします。		P15~
	5 浴槽機器		吸込口等の汚れを落とします。	風呂釜洗浄剤で配管内部を洗浄します。			P16
床・天井・壁	6 床		床の目地やコーキング材をこすります。		カビ取り剤でカビを落とします。※洗剤では取れない汚れは浴室用ブラシでかき出します。	※注2	P17~
	7 天井			やさしくこすります。			P18
	8 壁		やさしくこすります。		カビ取り剤でカビを落とします。	※注2	P19
	9 床排水トラップ		ヘアキャッチャーをお掃除します。※毎日することをお勧めします。	トラップ内部、部品の汚れを落とします。			P20~
	10 浴槽下				エプロンを外して、浴槽下のお掃除をします。		P25~
ドア	11 ドア		下枠溝、ヘアキャッチャーの汚れを落とします。		落ちにくい汚れや、ドア下部の汚れを落とします。	※注3	P31~
アクセサリー	12 鏡 ※キレイ鏡を除く(P.35参照)		やさしくこすります。		クリームクレンザーで4~5回磨いて水をかける、の繰り返しで落とします。	※注1	P35
	13 握りバー スライドバー タオル掛		やさしくふきとります。		洗剤を薄めて、やさしくふきとります。		P37
	14 収納部 カウンター		洗剤を薄めて、やさしくふきとります。		収納棚を外し、洗剤を薄めてやさしくふきとります。		P37
水栓	15 水栓		やさしくこすります。	クリームクレンザーで4~5回磨いて水をかける、の繰り返しで落とします。	ストレーナー、整流口、シャワー散水板の汚れを落とします。		P39~
照明	16 照明				洗剤を薄めて、やさしくふきとります。		P42~
換気扇 暖房機	17 換気扇 暖房機			フロントカバーやフィルターを取り外してお掃除します。	洗剤を薄めて、お掃除します。		P45~

※注1 浴室用クリームクレンザーを使う場合は、表面にキズを付けたり、こすりすぎてツヤが出すぎないようにご注意ください。
※注2 カビ取り剤を使用する場合は、必ず注意書きをよく読んで正しくお使いください。(P.3·4「浴室にカビが…」参照)
※注3 アルミ部分には浴室用合成洗剤(中性)以外は使わないでください。
透明面材は汚れが目立ちやすいので、汚れや水分はこまめにふきとってください。

お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

浴槽
風呂フタ
追いだき口（循環口）
浴槽排水口
浴槽機器
床
天井
壁
床排水トラップ
浴槽下
ドア
鏡
握りバー スライドバー タオル掛
収納部 カウンター
水栓
照明
換気扇 暖房機

1 浴槽

週に1回

1. 浴室用合成洗剤（中性）をかけて2～3分おき、その後スポンジでやさしくこすります。
2. 洗剤が残らないように水で洗い流します。

お願い

浴室用クリームクレンザーは常用しないでください。浴槽にキズが付いたり、光沢がなくなることがあります。

汚れが目立ってきたら

浴室用合成洗剤（中性）で落ちない汚れ（水アカ等）の場合

1. スポンジに浴室用クリームクレンザーを付けて、やさしくこすり落とします。
2. 洗剤が残らないように水で洗い流します。

ワンポイント

浴室用クリームクレンザーを使う場合は強くこすらず、汚れを4～5回磨いては水をかけます。これを繰り返して少しずつ汚れを落とすと、キズが付きにくくなります。

2 風呂フタ

週に1回

1. 浴室用合成洗剤（中性）とスポンジで、細かい部分は、歯ブラシで洗います。
   ※巻フタ用ブラシ（おすすめ便利グッズ）なら、巻フタの凹凸もいっぺんに洗えます。
2. 洗剤が残らないように水で洗い流します。

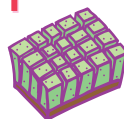
汚れが目立ってきたら

浴室用合成洗剤（中性）で落ちない汚れ（水アカ等）の場合

1. スポンジに浴室用クリームクレンザーを付けて、やさしくこすり落とします。

2. 洗剤が残らないように水で洗い流します。

ワンポイント

風呂フタは月に１回程度、お手入れ後に風通しのよい場所で陰干しして乾燥させるとカビが生えにくくなります。

ナイロンたわし付スポンジに1cm角の切れ込みを入れて洗えば、巻フタ用スポンジの代わりになります。（ナイロンたわしの面は使わないでください。）

3 追いだき口（循環口）

※当社以外の追いだき口（循環口）が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになりお手入れしてください。

週に1回

必ず、お手入れしてください。

※フィルターに湯アカや毛髪がたまると、目詰まりを起こして湯沸かし機能が正しく働かない場合があります。

1. 循環口カバーを「はずす」の方向（左）へ止まるまで回し、手前に引いて外します。

2. 循環口カバー（フィルター）、循環口本体のゴミを歯ブラシ等で取り除きます。

3. 循環口カバーの△と循環口の△を合わせてはめ込み、**「とめる」の方向（右）へ「カチッ」と音がするまで回します。**

お願い

循環口カバー以外は外さないでください。
※無理に外すと浴槽のお湯がたまらなかったり、浴槽のお湯が抜ける原因になります。

風呂釜用洗剤の注意書きをよく読み、ご使用ください。
※給湯器の取扱説明書もご覧ください。

お手入れ後は、循環口カバーを正しい位置に固定してください。
※給湯器の温度制御ができず、沸きあがりの湯温がずれる恐れがあります。

※取り除いたゴミ等は、排水管に直接流さないでください。

月に1回

風呂釜洗浄剤

風呂釜用洗浄剤をお使いください。

アクアジェット等の浴槽機器付の場合は、各商品の取扱説明書をご覧ください。

4 浴槽排水口

週に1回

必ず、お手入れしてください。

1 ゴム栓または、排水栓（密閉栓）を外します。

（プッシュワンウェイ排水栓の場合）
※排水栓を開けて（排水栓（密閉栓）が上がった状態）、まっすぐに引っ張り上げて取り外します。

2 排水コアのゴミを歯ブラシ等で取り除きます。

※取り除いたゴミ等を直接流したり、排水コアを外したまま使用しないでください。
排水管が詰まる恐れがあります。
※アタッチメントを外さないでください。**浴槽のお湯がたまらなかったり、お湯が抜ける原因**になります。

3 排水コアを元通り排水口に戻します。

※向きに注意して奥まで押し込んでください。

※水平になるように取り付けてください。

※排水コアを正しく設置しないと湯張りできなくなることがあります。

プッシュワンウェイ排水栓の場合

4 排水栓を閉めて（排水栓（密閉栓）が下がった状態）、「カチッ」というまで排水口にはめ込みます。

5 浴槽上縁にある押しボタンを数回押して開閉を確認します。

●押ボタンのお手入れ（プッシュワンウェイ排水栓の場合）

汚れが目立ってきたら

必ず、お手入れしてください。

1 浴槽の上縁にある押ボタンにガムテープ、または吸盤を張り、押ボタンを1度押し込んでから引き上げて外します。

2 押ボタンのヌメリやゴミを取り除きます。

※取り除いたゴミ等は、排水管に直接流さないでください。
※押ボタンに入った水は浴槽下から排水されます。

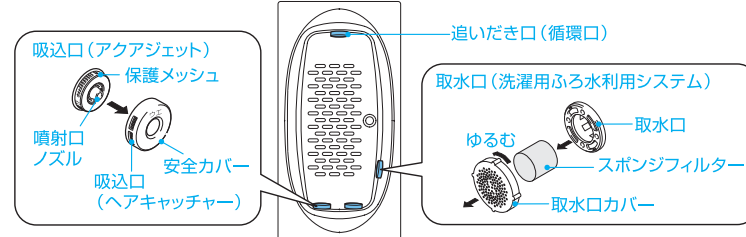
3 シャワーでお湯をかけながら中央の突起部を上下に繰り返し動かします。

4 押ボタンを「カチッ」というまではめ込みます。

5 浴槽機器

週に1回

必ず、お手入れしてください。

浴槽機器付きの場合は、吸込口・取水口のゴミ等を取り除きます。
※詳しくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

月に1回

アクアジェット付き、洗濯用ふろ水利用システム付きの場合は、風呂釜洗浄剤で配管内部をお掃除します。
※詳しくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

ワンポイント
追いだきとアクアジェットが付いている場合は、いっしょに洗浄します。
洗濯用ふろ水利用システムと、追いだきまたはアクアジェットが付いている場合は、追いだきまたはアクアジェットの洗浄を先に行います。

※風呂釜洗浄剤の注意書きをよく読み、正しくお使いください。
※配管内部が汚れていると湯アカ等の汚れが出てくることがあります。

お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

6 床

週に1回

モザイクパターンにリンス等の成分がこびり付くと水はけ性能が落ちてしまいます。

必ず、お手入れしてください。

1. 浴室用合成洗剤（中性）をかけて2～3分おきます。
2. FRP床は先割れ加工の浴室用ブラシで、床まわりのコーキング材やタイル床はスポンジでやさしくこすります。
※床面は溝に沿ってお掃除します。

3. 洗剤が残らないように水で洗い流します。

床の一部に水滴が残り乾燥に時間がかかることがあります。
※乾いた布等でふきとっておくと乾燥に時間がかかりません。

⚠注意

- 目地やコーキング材を硬いものでこすらないでください。
※切れたり、はがれて漏水する恐れがあります。
- 目地やコーキング材が切れたり、はがれている場合は、修理を依頼してください。（P.52参照）
※漏水する恐れがあります。
- タイル床のタイルに割れ、欠け、キズが生じた場合は、修理を依頼してください。
※そのまま使用するとケガをする恐れがあります。
- リノビオBYUシリーズの場合は洗い場まわりにあるカバー材、保護キャップを外さないでください。
※漏水の原因となります。

お願い

銀イオン配合の洗剤を使う場合は、「毎日」のお掃除をした後にご使用ください。
※洗剤成分が変色して取れなくなる恐れがあります。

（バリアフリーバスルームシリーズ、リノビオBYR-1116シリーズ、リノビオBPRシリーズの場合）
カビ取り剤使用後はすみやかに水でよく洗い流してください。
※長時間放置したり、洗剤が残ると水はけ性能低下の原因になります。

汚れが目立ってきたら

洗い場コーナー付近等に、黒ずんだ汚れが付き、浴室用合成洗剤（中性）やカビ取り剤で取り除くことができない場合があります。

そのような場合は、先割れ加工の浴室用ブラシを使い、かき出すようにすると取り除くことができます。

◆床まわりのコーキング材のお手入れ（カビが生えているときは）

コーキング材にカビが生えているときは、カビ取り剤をお使いください。

※カビ取り剤や防カビ剤を使用する場合は以下の点に気をつけて正しくお使いください。
- ●注意書きをよく読みます。
- ●マスク、ゴム手袋、保護メガネを着用し、窓を開けるか換気扇を回してください。
- ●肩より高い場所にはカビ取り剤を直接スプレーしないでください。（顔や衣服に付着する恐れがあります。）
- ●長時間放置したり、洗剤を残さないでください。

7 天井

1. 柄付のスポンジに浴室用合成洗剤（中性）を付け、やさしくこすります。

2. 洗剤が残らないように湿らせた布でふきとります。

注意

- 目地やコーキング材を硬いものでこすらないでください。
※目地やコーキング材が切れたり、はがれて漏水する恐れがあります。
- 目地やコーキング材が切れたり、はがれている場合は、修理を依頼してください。（P.52参照）
※漏水する恐れがあります。

※コーニス照明の場合は、凹部もお掃除します。

お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

8 壁

週に1回

1 浴室用合成洗剤（中性）をかけて2〜3分おき、スポンジでやさしくこすります。

（Lパネル）

（タイルパネル）

2 洗剤が残らないように水で洗い流します。

注意

- 目地やコーキング材を硬いものでこすらないでください。
  ※切れたり、はがれて漏水する恐れがあります。
- 目地やコーキング材が切れたり、はがれている場合は、修理を依頼してください。（P.52参照）
  ※漏水する恐れがあります。

◆タイル目地のお手入れ（カビが生えているときは）

タイル目地やコーキング材にカビが生えているときは、カビ取り剤をお使いください。

※カビ取り剤や防カビ剤を使用する場合は、以下の点に気をつけて正しくお使いください。
- 注意書きをよく読みます。
- マスク、ゴム手袋、保護メガネを着用し、窓を開けるか換気扇を回してください。
- 肩より高い場所にはカビ取り剤を直接スプレーしないでください。
- 長時間放置したり、洗剤を残さないでください。

9 床排水トラップ

排水トラップとは、排水経路の一部に水（封水）をためて臭気や害虫の侵入を防ぐ装置です。中に水がたまっているのが正常な状態です。

注意

排水トラップのフランジは、ゆるめないでください。
※漏水の恐れがあります。

※ヘアキャッチャー・排水トラップ周囲に、ゴミがたまったままで使用しないでください。排水が遅くなったり、排水管が詰まる恐れがあります。
※取り除いたゴミ等は直接排水トラップに流さないでください。

浴槽からお湯や水を抜くと、排水トラップからゴボゴボ音がする場合があります。これは一度に多くの水を流した場合に一時的に起こる現象で異常ではありません。
※ゴボゴボ音がしている間は排水トラップの水（封水）の水位が下がりますが、浴槽水の排水が終わると元に戻ります。

商品シリーズによりお手入れ方法が異なります。取扱説明書表紙でお使いの商品シリーズをご確認ください。

◆ソレオ・リノビオBYU・BYRシリーズ（BYR-1116を除く）の場合

●ヘアキャッチャー・排水トラップ周囲のお手入れ

週に1回

必ず、お手入れしてください。

1 目皿を外し、排水トラップ周囲や目皿にシャワーをかけながらスポンジでお掃除します。

2 ヘアキャッチャーのツマミを持って、左（反時計回り）に回して取り外します。

（くるりんポイ排水口）

（スタンダード排水口）

3 ヘアキャッチャーのゴミや汚れを落とします。

（くるりんポイ排水口）

（スタンダード排水口）

4 ヘアキャッチャーを右（時計回り）に回して取り付け、目皿を設置します。

くるりんポイ排水口の場合はロックが掛かるまで回します。

※ヘアキャッチャーを正しく設置しないと、浴槽水の排水時に外れてしまうことがあります。

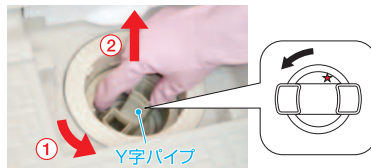
浴槽 風呂フタ 追いだき口（循環口） 浴槽排水口 浴槽機器 床 天井 壁 床排水トラップ 浴槽下 ドア 鏡 握りバー スライドバー タオル掛 収納部 カウンター 水栓 照明 換気扇 暖房機

●トラップ内部のお手入れ

くるりんポイ排水口の場合

月に1回

必ず、お手入れしてください。

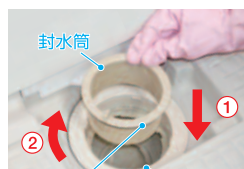
1 目皿、ヘアキャッチャー、整流リングを外し、Y字パイプを左（反時計回り）に45°回して取り外します。

お願い

整流リングやY字パイプ、封水筒を取り外したまま使用しないでください。
※悪臭や害虫が発生する原因になります。

2 封水筒を左（反時計回り）に止まるまで回した後、引き上げて外します。

3 封水筒と整流リング、Y字パイプ、排水トラップ内部の汚れをスポンジや歯ブラシでお掃除します。

※Y字パイプや封水筒についているパッキンは外さないでください。

4 排水トラップの溝（大）と封水筒のツメ（大）を合わせて差し込みます。
封水筒を右（時計回り）に止まるまで回します。

5 Y字パイプ下面の「☆」マークを浴槽側に向けて、排水口底の穴に差し込みます。
Y字パイプを右（時計回り）に45゜回して取り付けます。

※取付後はY字パイプの2つの穴が浴槽と平行になっていることを確認してください。

6 整流リングをY字パイプの穴位置に合わせて差し込みます。

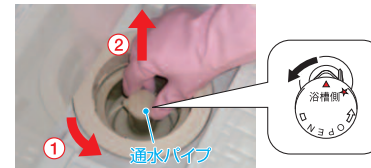
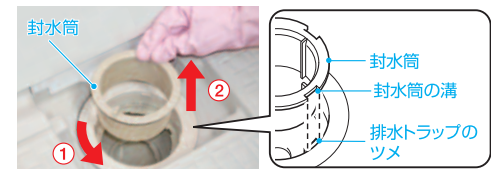
スタンダード排水口の場合

月に1回

必ず、お手入れしてください。

1 目皿、ヘアキャッチャーを外し、通水パイプを左（反時計回り）に45°回して取り外します。

お願い

通水パイプを取り外したまま使用しないでください。
※悪臭や害虫が発生する原因になります。

2 封水筒を左（反時計回り）に止まるまで回し、引き上げて外します。

3 封水筒と通水パイプ、トラップ内部の汚れをスポンジや歯ブラシでお掃除します。

※通水パイプや封水筒に付いているパッキンは外さないでください。

4 封水筒の溝と排水トラップの溝（大）を合わせて封水筒のツメ（大）を入れ、右（時計回り）に止まるまで回します。

5 通水パイプ上面の「☆マーク」と側面の線を浴槽側に向けて、排水口底の穴に差し込みます。
通水パイプを右（時計回り）に45゜回して取り付けます。

※取付後は通水パイプ上面の「△マーク」が浴槽側に向いていることを確認してください。

床・天井・壁

◆バリアフリーバスルーム1116、リノビオBYR-1116の場合

●ヘアキャッチャー・排水トラップ周囲のお手入れ

週に1回

必ず、お手入れしてください。

1. 目皿を外し、排水トラップ周囲や目皿に水をかけながらスポンジでお掃除します。

2. ヘアキャッチャーのツマミを持って、左（反時計回り）に回して取り外します。

3. ヘアキャッチャーのゴミや汚れを落とします。

4. ヘアキャッチャーの「ロック」表示のあるツマミを手前にしてはめ込み、ツマミを持って右（時計回り）に回して固定します。

※ヘアキャッチャーは必ず固定してお使いください。

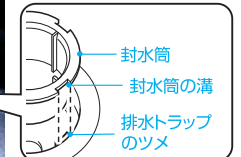
5. 目皿を取り付けます。

●トラップ内部のお手入れ

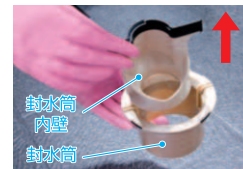
エプロンを取り外してから行ってください。
エプロンの取り外し方は取扱説明書の「エプロンの取外し・取付け」をご覧ください。

月に1回

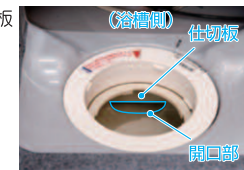
必ず、お手入れしてください。

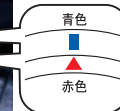
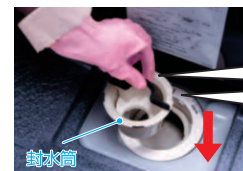
1. 目皿、ヘアキャッチャーを取り外し、封水筒を左（反時計回り）に「止まるまで」回し、排水トラップのツメと封水筒の溝を合わせ引き上げます。

お願い

封水筒を取り外したまま使用しないでください。
※悪臭や害虫が発生する原因になります。

2. 封水筒と排水トラップ内部の汚れをスポンジや歯ブラシ等で落とします。

※封水筒に付いているパッキンは外さないでください。

※封水筒内壁は上方に引き抜いてお掃除できます。
お掃除後は、内壁を封水筒内面の溝に沿って奥まで差し込んでください。
（正しく差し込まれていないとストレーナーを設置できなくなります。）

床排水トラップ内部（浴槽側）の仕切板下の開口部のゴミを取り除きます。
（開口部にゴミがたまると浴槽の排水が流れにくくなります。）

3. 封水筒の溝と排水トラップのツメを合わせて封水筒を入れ、封水筒上面の▲印と排水トラップの上面の▮印を合わせて封水筒をさらに押し込みます。

※封水筒は傾いたまま取り付けないでください。

4. 排水トラップ上面の▼印を、封水筒上面の▲印が同じ位置になるまで右（時計回り）に回します。

⑩ 浴槽下

商品シリーズによりお手入れ方法が異なります。取扱説明書表紙でお使いの商品シリーズをご確認ください。

◆ソレオ・リノビオBYU・BYRシリーズ（BYR-1116を除く）の場合

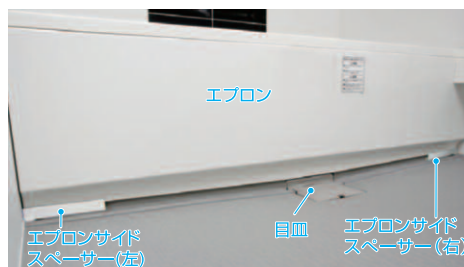
⚠注意

浴槽下のお手入れは、腕が露出しない服装で、ゴム手袋を着用してください。
※ケガをする恐れがあります。

浴槽下には直接、腕や手を入れないでください。
※突起部等でケガをする恐れがあります。

●エプロンの取外し

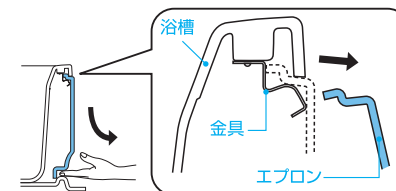
リノビオBPRシリーズの場合は、取扱説明書の「エプロンの取外し・取付け」をご覧ください。

1. エプロンサイドスペーサー（左・右）を外します。

エプロンサイドスペーサーの取っ手をつまみ、
回転させながら外します。

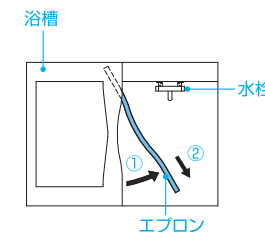
反対側（右）も同様に取り外します。

2. 目皿を外します。

3. エプロンを手で押さえながら仕切板を手前に引いて取り外します。

4. エプロン上部を押し下げながらエプロン下部を手前に引き、上部を浴槽中央部の金具から外します。

5. 浴槽中央部の金具からエプロンが外れたら、図のように水栓と反対側を手前に引き出し、洗い場側へ移動して取り外します。

床・天井・壁

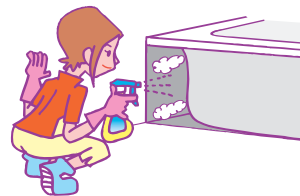
浴槽
風呂フタ
追いだき口（循環口）
浴槽排水口
浴槽機器
床
天井
壁
床排水トラップ
浴槽下
ドア
鏡
握りバー スライドバー タオル掛
収納部 カウンター
水栓
照明
換気扇 暖房機

●浴槽下のお手入れ

半年に1回

必ず、お手入れしてください。

スポンジ　洗剤（中性）

1. 浴槽下の床・壁に浴室用合成洗剤（中性）をかけて2〜3分おきます。
   柄付のスポンジ等で届く範囲をやさしくこすります。
   ※カビが生えている場合はカビ取り剤をお使いください。

※サーモスバスの場合、保温材には直接洗剤をかけないようご注意ください。

2. 洗剤が残らないように強めのシャワーで洗い流します。

3. **サーモバスの場合**
   サーモバスの保温材は、浴室用合成洗剤（中性）を薄めてスポンジでふき、洗剤が残らないように湿らせた布でふきとります。

お願い

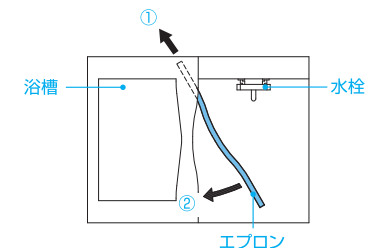
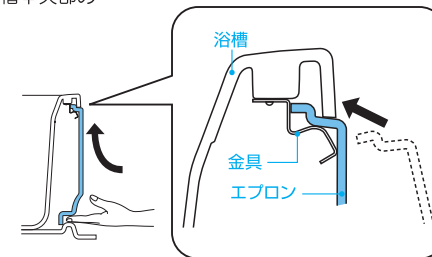
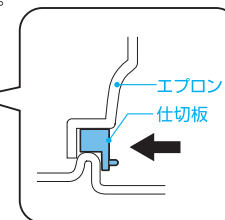
（サーモバスの場合）
・保温材やテープの継ぎ目を強くこすったり、はがしたりしないでください。
・硬いものや鋭利なものでこすらないでください。
・50℃以上のお湯、スチームをかけないでください。
※保温材のキズ、シワ、破れ、はがれの原因になります。
（保温材の破れ、はがれにより保温性能が低下することがあります。）

4. 浴槽下排水口周辺のゴミを取り除きます。

※ゴミを直接排水口に流さないでください。排水管が詰まる恐れがあります。

●エプロンの取付け

リノビオBPRシリーズの場合は、取扱説明書の「エプロンの取外し・取付け」をご覧ください。

1. エプロンを垂直にたてて図のようにエプロンの水栓側端部を差し込み、反対側を回転してエプロンを仮置きします。

2. エプロンを持ち上げ、上部を浴槽中央部の金具に差し込みます。

3. エプロンを少し持ち上げながら、仕切板を排水口の奥側へ取り付けます。

止まるまでしっかり押し込んでください。

4. 目皿を取り付けます。

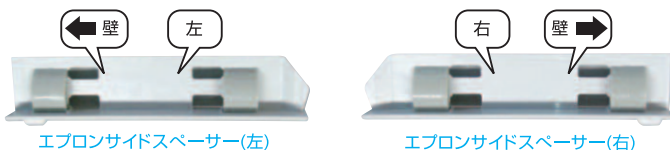
浴槽
風呂フタ
追いだき口（循環口）
浴槽排水口
浴槽機器
床
天井
壁
床排水トラップ
浴槽下
ドア
鏡
握りバー スライドバー タオル掛
収納部 カウンター
水栓
照明
換気扇 暖房機

床・天井・壁

5 エプロンサイドスペーサー（左・右）を壁側に沿わせながら奥まで差し込みます。

ワンポイント

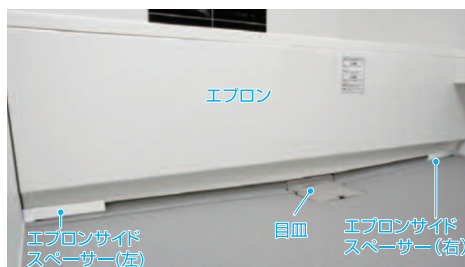
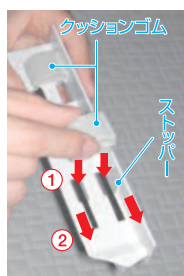
●エプロンサイドスペーサーには左・右の表示があります。
・「左」、「右」の表示を上に向けます。
・洗い場側から浴槽に向かって「左」、「右」の表示に合わせて設置します。

エプロンサイドスペーサー（左）

エプロンサイドスペーサー（右）

●エプロンサイドスペーサーのクッションゴムが外れた場合は、以下の手順で取り付けます。

右図のようにエプロンサイドスペーサー本体とクッションゴムの向きを合わせて差し込み、エプロンサイドスペーサーの外側へスライドします。

（注）クッションゴムの取付方法により本体の高さ調節ができます。
※隣合うクッションゴムと高さを合わせます。
※クッションゴムが2つとも外れてしまった場合は、高さ「中」に設定します。エプロンサイドスペーサーを取り付け、ゆるい場合は「高」の位置に、入りにくい場合は「低」の位置に変更します。

※クッションゴムを外す場合は、ストッパーを避けながら内側へスライドします。

取付後は、ガタつきのないことを確認します。

◆バリアフリーバスルーム1116・リノビオBYR-1116の場合

エプロンを取り外してから行ってください。
エプロンの取外し方・取付け方は取扱説明書の「エプロンの取外し・取付け」をご覧ください。

半年に1回

必ず、お手入れしてください。

1 エプロンを取り外し、ヘアキャッチャーを設置します。
※ヘアキャッチャーは固定しないでください。

2 浴槽下の床・壁に浴室用合成洗剤（中性）をかけて2～3分おきます。
柄付きのスポンジ等で届く範囲をやさしくこすります。
※カビが生えている場合はカビ取り剤をお使いください。

※サーモバスの場合は、洗剤が保温材に直接かからないようご注意ください。

3 洗剤が残らないように強めのシャワーで洗い流します。

4 **サーモバスの場合**
サーモバスの保温材は、浴室用合成洗剤（中性）を薄めてスポンジでふき、洗剤が残らないように湿らせた布でふきとります。

お願い

（サーモバスの場合）
・保温材やテープの継ぎ目を強くこすったり、はがしたりしないでください。
・硬いものや鋭利なものでこすらないでください。
・50℃以上のお湯、スチームをかけないでください。
※保温材のキズ、シワ、破れ、はがれの原因になります。
（保温材の破れ、はがれにより保温性能が低下することがあります。）

5 ヘアキャッチャーや排水トラップ周囲にたまったゴミを取り除きます。

※ゴミを直接排水口に流したり、ヘアキャッチャーを外したまま使用しないでください。
排水管が詰まる恐れがあります。

6 エプロン、仕切板、ヘアキャッチャー、目皿を取り付けます。

お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

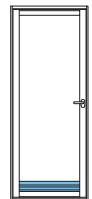
11 ドア

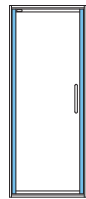
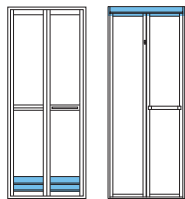
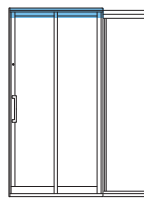
⚠注意

ドアや戸袋、FIX窓に直接水をかけないでください。
※浴室外に水が漏れ、家財等を濡らす恐れがあります。

ドアのお掃除には、浴室用合成洗剤（中性）以外の洗剤は使用しないでください。
※下枠部の排水部分が損傷して漏水したり、変色の恐れがあります。

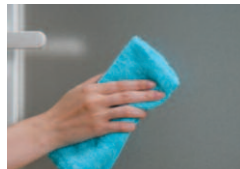
●ドアの種類

下部の■部分がガラリ（空気取り入れ口）です。

開き戸UDY

開き戸HDY

テンパー開き戸

折り戸

2枚引き戸

月に1回

浴室用合成洗剤（中性）を適量に薄め、やわらかい布に含ませて、細かい部分は歯ブラシにつけてお掃除します。
※手の届かない場所は柄付スポンジをお使いください。

その後、洗剤が残らないように、湿らせた布でふきとります。

●強化ガラスのお手入れ

テンパー開き戸･FIX窓や開き戸HDYの透明面材には強化ガラス（浴室外側に飛散防止フィルム張り）を使用しています。

強化ガラスの浴室外側面をお掃除する場合は、ゴムへラや濡らしたやわらかい布でやさしく水ぶきします。

お願い

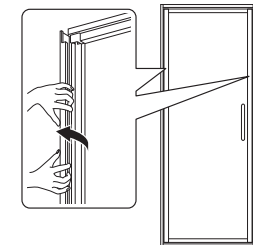
テンパー開き戸･FIX窓･開き戸HDY（透明面材）の浴室外側面にブラシ･研磨剤･研磨剤入りのスポンジ･汚れている布･乾いた布等は使わないでください。
※飛散防止フィルムをキズつける恐れがあります。

半年に1回

とびら下部やドア枠（レール部分等）をお掃除します。
※ゴミがたまったままにするとドアの開閉が重くなったり、キズが付くことがあります。

ガラリ（空気取り入れ口）のホコリ等を掃除機で吸い取ります。

●テンパー開き戸のガラリのお手入れ

ドアを開き、縦枠の浴室外側ガラリ部分を図のように開いて、ホコリ等を掃除機で吸い取ります。
※ガラリは、左右のドア縦枠にあります。

●開き戸HDY、折り戸、2枚引き戸のガラリのお手入れ

浴室外側のガラリ部分（開閉式）とドア上枠のホコリをふきとります。
※ガラリは、ドア上枠にあります。

ドアまわり

商品シリーズによりお手入れ方法が異なります。取扱説明書表紙でお使いの商品シリーズをご確認ください。

◆ドアの下枠のお手入れ(ソレオ・リノビオBYU・BYRシリーズ(BYR-1116除く)の場合)

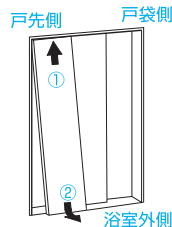
●2枚引き戸のお手入れ

必ず、お手入れしてください。

1. 下枠アタッチメントの浴室内側コーナーを持ち上げて取り外します。

下枠アタッチメント

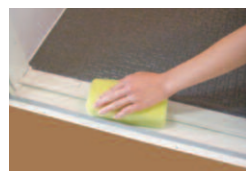
2. とびらを外します。

⚠注意

下枠カバーを外した状態で、とびらを開閉しないでください。
※とびらが外れてケガをする恐れがあります。

3. 下枠カバーを持ち上げて外します。

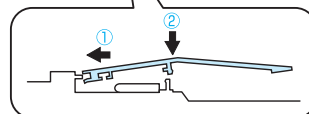
※下枠カバーは2分割になっています。
※戸袋側の下枠カバー(短)はとびらを外さないと取り外せません。

4. ドア下枠のゴミや汚れを取り除きます。

下枠に溜まった水は下枠アタッチメント下より洗い場側へ排水されます。

5. 短い下枠カバーは、切り欠き部分を浴室内側に向けて戸袋側に取り付けます。長い下枠カバーは、短い下枠カバーの向きに合わせて取り付けます。

※下枠カバーの位置や向きが間違っていると下枠カバーが浮く等、正しく取り付けできません。

6. 下枠アタッチメントのとびら側をドア枠の突起に差し込み、上から押さえて取り付けます。最後にとびらを取り付けます。

※とびらの外し方・付け方は取扱説明書の「2枚片引き戸を開閉する(非常時にとびらを取り外す)」をご覧ください。

◆ドアの下枠カバー、下枠のお手入れ(バリアフリーバスルーム1116・リノビオBYR-1116の場合)

●折り戸のお手入れ

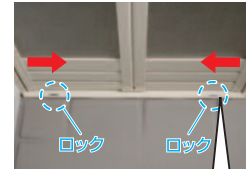
スポンジ

必ず、お手入れしてください。

1. ドアを閉じて下枠カバー両端のロックを内側にずらします。

⚠注意

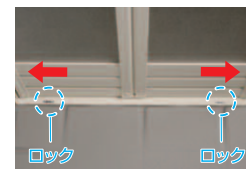
下枠カバーは正しく取り付けてください。
※浮き上がっていると、つまづいてケガをしたり、浴室外側に漏水する恐れがあります。

忘れずにお手入れしてね

2. 下枠カバー両端に指をかけて引き上げて外し、下枠カバーやドア枠のゴミを取り除きます。

下枠カバー

3. お手入れ後は下枠カバーを設置してロックを外側にずらします。

下枠カバー

ロック ロック

※取付後は、下枠カバーの浮き上がりやガタつきのないことを確認してください。

ステンレスはサビない？

ステンレスが鉄等に比べてサビにくい理由は、表面に酸化皮膜形成され保護しているからです。そのため、この酸化皮膜が保てないような環境(塩素系のカビ取り剤の放置やもらいサビの放置等)では、ステンレスといえどもサビてしまいます。
カビ取り剤は長時間放置したり、洗い残しがないようにし、もらいサビも見つけたら早めに落とすようにしましょう。

＊もらいサビ:P.7・8をご参照ください。

お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

12 鏡

※キレイ鏡はお手入れ方法が異なります。キレイ鏡は鏡の隅に右のマークがついています。 KIREI KAGAMI

◆鏡

スポンジ 中性洗剤

1. 浴室用合成洗剤（中性）をかけて2～3分おき、スポンジでやさしくこすります。

スライドバー バックボード

2. 洗剤が残らないように水で洗い流します。

お願い

磨き粉、ナイロンたわし等は鏡等にキズを付けてしまうので使わないでください。

ステンレス部分（大型鏡のスライドバーバックボード等）にカビ取り剤が付いた場合はすぐに洗い流してください。
放置すると変色する恐れがあります。

汚れが目立ってきたら

浴室用合成洗剤（中性）で落ちない汚れ（水アカ等）の場合

スポンジ クレンザー

1. スポンジに浴室用クリームクレンザーを付けて、やさしくこすり落とします。

2. 洗剤が残らないように水で洗い流します。

お願い

ステンレス部分（大型鏡のスライドバーバックボード等）に浴室用クリームクレンザーを使用すると、光沢・模様が失われることがありますのでご注意ください。

ワンポイント

鏡は長く使用している間に、水分や酸素の影響を受け、鏡の周辺部に黒っぽいシミのようなものが発生します。（周辺部以外にも発生することがあります。）
このシミは取り除くことはできません。

◆キレイ鏡

1. シャワーをかけながらスポンジでやさしくこすります。
2. やわらかい布で水滴をふきとります。

お願い

浴室用クリームクレンザーを使ったり、くもり止めキットとの併用はしないでください。

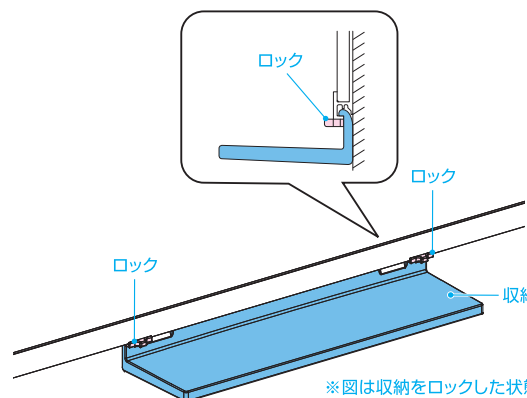
カビ取り剤が付かないようにご注意ください。（付いた場合はすぐに洗い流してください。）
※防汚効果が失われます。

1. 乾いたやわらかい布で汚れをふきとります。

長期間汚れを放置すると汚れが取れにくくなり、防汚効果も失われます。

防汚効果は徐々に低下していきます。そのままでも、通常の鏡としてお使いいただけます。

防汚効果が低下した場合に使用するメンテナンスキットをご用意しております。詳しくは取扱説明書の「交換部品のご案内」をご覧ください。

◆ミラー収納

※図は収納をロックした状態です。

お願い

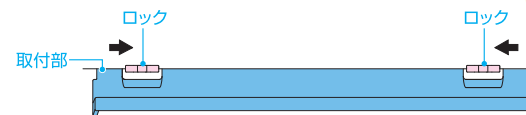
収納は必ずロックした状態でお使いください。
※ロックしないで使用すると不意に収納が外れる場合があります。

システムワイドミラーの場合、収納は取付位置を変えられます。
位置を変える場合は、収納物を撤去して、一旦収納を外してから変えてください。
※収納物が落下してケガをしたり、壁が傷ついたり、収納が破損する場合があります。
※浴槽側には収納は取り付けできません。

乾いたやわらかい布で汚れをやさしくふきとります。

汚れが目立ってきたら

スポンジ 中性洗剤

1. 収納を空にして、ロックを内側へ動かして解除します。
※ロックは収納の取付部2か所に付いていてロックが取付部にあるときロックされます。

収納状態のまま取り外すと、収納が落下しケガをする恐れがあります。

ロック ロック 取付部

※図はロックを解除した状態です。

2. 収納の手前側を垂直になるまで持ち上げ、取付部をシステムミラー下枠から外します。
3. 収納に浴室用合成洗剤（中性）を適量に薄めてスポンジに含ませ、汚れを落とします。
4. 洗剤が残らないように水で洗い流し、収納を取り付けます。
※詳しくは取扱説明書をご覧ください。

お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

13 握りバー・スライドバー・タオル掛

乾いたやわらかい布で
汚れをやさしくふきとります。

※硬いものをぶつけないでください。キズが付いたり、メッキがはがれたりすることがあります。

※酸性、アルカリ性の洗剤等が付かないようにしてください。メッキを傷めます。

※スライドバーの角に筋が残る場合は、やわらかい布でふきとってください。

汚れが目立ってきたら

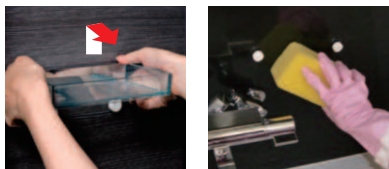
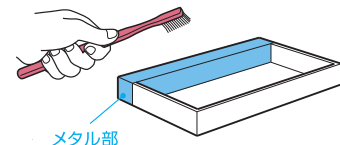
浴室用合成洗剤（中性）を適量に薄めてやわらかい布に含ませ、やさしくふき、水で洗い流します。

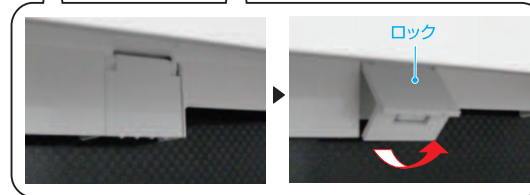
14 収納部・カウンター

浴室用合成洗剤（中性）を適量に薄めてやわらかい布に含ませ、やさしくふき、水で洗い流します。

お願い
どのような洗剤でも塗布後長時間放置しないでください。また、洗剤を残さないように十分洗い流してください。
※洗剤分が残っていると、変色したり変質する恐れがあります。

とるピカ スリムカウンター、収納棚を取り外し、浴室用合成洗剤（中性）を適量に薄めてスポンジに含ませて、壁等の汚れを落とします。

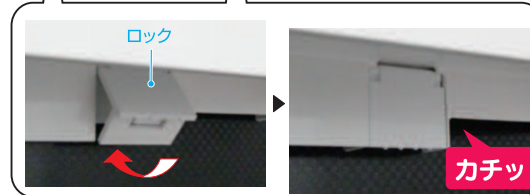
水で洗い流し、収納棚を取り付けます。

ワンポイント
高級収納棚（幅180mm）の場合、メタル部とのすき間は歯ブラシ等でお掃除します。
※メタル部は外さないでください。

●とるピカ スリムカウンターの取外し方

1. 上に物が載っていないことを確認し、両端にあるロック（2か所）を解除します。

2. 両端を持ち、片方ずつゆっくり持ち上げて外します。

お願い
無理な力を加えないでください。
※破損してケガをする恐れがあります。

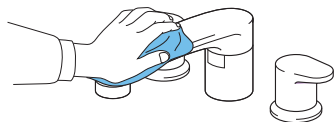
お願い
必ずロックしてお使いください。
※ロックを閉めずに使うと不意に外れる場合があります。

浴槽
風呂フタ
追いだき口（循環口）
浴槽排水口
浴槽機器
床
天井
壁
床排水トラップ
浴槽下
ドア
鏡
握りバー スライドバー タオル掛
収納部 カウンター
水栓
照明
換気扇 暖房機

お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

15 水栓

週に1回

1 浴室用合成洗剤(中性)をかけて2~3分おき、スポンジでやさしくこすります。

2 洗剤が残らないように水で洗い流します。

⚠注意

メタル調シャワーヘッドにキズが生じた場合は、修理、交換を依頼してください。(P.52参照)
※そのまま使用するとケガをする恐れがあります。

お願い

水栓金具の印字部分(温度表示や切替表示等)にメラミンフォーム(P.6参照)やクリームクレンザーを使わないでください。
※温度表示等の印字が消える恐れがあります。

月に1回

浴室用合成洗剤(中性)で落ちない汚れ(水アカ等)の場合

1 スポンジに浴室用クリームクレンザーを付けて、やさしくこすります。

2 洗剤が残らないように水で洗い流します。

※プッシュ水栓の場合は、ボタンをロックしてからお手入れをしてください。
(詳しくは取扱説明書をご覧ください。)

豆知識 重曹やお酢(クエン酸)は注意してお使いください

雑誌等で環境にやさしい洗剤として紹介されている重曹や酢(クエン酸)。
実は浴室を傷めてしまうことがあります。お掃除に使うときはご注意ください。

●重曹
重曹は水に溶けると弱アルカリ性になり、酸性の汚れ(皮脂や湯アカ等)を中和して落とす効果と、マイナスイオンの働きで汚れを洗い流しやすくする効果があります。

★使い方(例)
水1:重曹2~3程度を混ぜ、ペースト状にしてクリームクレンザーの代わりに。
また、200mlの水に重曹大さじ1杯程度を混ぜ、浴室用合成洗剤の代わりに使います。
使用後はよく洗い流します。

●お酢・クエン酸
酢水やクエン酸水は弱酸性で、アルカリ性(石けんカス、水アカ等)の汚れを中和して落とす効果があります。また、雑菌の繁殖を抑える、消臭効果等があるといわれています。
※調味酢、すし酢等砂糖やみりんを含むもの、果実酢は使わないでください。

★使い方(クエン酸水)(例)
200mlの水にクエン酸小さじ1杯程度を混ぜ、浴室用合成洗剤の代わりに使います。使用後はよく洗い流します。

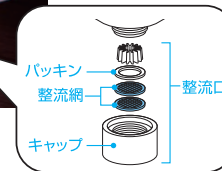
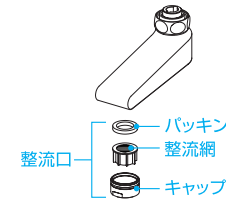
●ココに注意
・浴槽・床やアルミ等の金属、メッキ部品、キレイ鏡には使わないでください。
また、他の部分でも長時間放置したり、洗い残しがないようにしてください。
(変色やサビの原因になることがあります)
・重曹・お酢・クエン酸は、使う前に目立たない場所で変色やキズ等のないことを確認してください。
・重曹は素手で扱うと皮膚に刺激を受けることがありますので、ゴム手袋を着用してください。

吐水口やシャワーからの水量が少なくなったと感じたら、整流口や散水板、ストレーナーのお掃除をしてください。
※整流口や散水板、ストレーナーのゴミ詰まりは機能を低下させます。

◆整流口のお手入れ

半年に1回

必ず、お手入れしてください。

手でキャップを回して整流口を取り外し、整流網のゴミ等を取り除き、水で洗います。
※取り外すことができない水栓もあります。

モデルノの場合
スパナ(対辺22)でキャップを取り外します。

※ジュエラ(浴槽側水栓)の場合は、取扱説明書をご覧下さい。

◆シャワー散水板のお手入れ

詳しくはシャワーの取扱説明書をご覧ください。

●散水板が取り外せる場合

必ず、お手入れしてください。

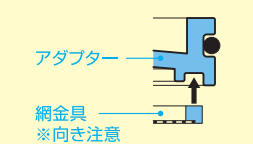
散水板を取り外し、水をバケツ等にためてすすぎ洗いをします。

※スイッチ付シャワーの場合、シャワーヘッドとシャワーホースは外さないでください。

散水板の取外し方、取付け方
左(反時計回り)に回して取り外します。
つかめない場合は、散水板を押しながら回してください。

スプレーシャワー(メタル調)の場合
(散水板をつかめない場合)

散水板のお掃除後、網金具、散水板を取り付けます。

※網金具を取付ける際は、向きにご注意ください。
アダプター
網金具
※向き注意

●散水板が取り外せない場合

必ず、お手入れしてください。

歯ブラシまたは針等でゴミを取り除きます。

シャワーパネル(ボディシャワー)の場合

※シャワーヘッドの中に網金具が入っている場合があります。先端のとがった針等を使う場合は、網金具に穴があかないようにご注意ください。
※シャワーパネル、シャワー・ド・バスの場合は、各取扱説明書をご覧ください。

◆ストレーナーのお手入れ

ここではソレオシリーズSSUタイプ・カウンター一体型水栓のストレーナーのお掃除方法を紹介しています。
その他の水栓については、取扱説明書をご覧ください。

ワンポイント

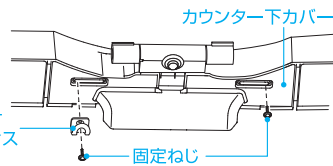
止水栓の開け閉めにより、配管の中のゴミが流れ出し、再度ストレーナーが目詰まりする場合があります。
ストレーナーを元に戻す前に、止水栓を少しあけてゴミを洗い流し、止水栓を閉じてください。

ストレーナーは配管中のゴミ等を取り除くためのものです。

●SSUタイプカウンター水栓のお手入れ

吐水量が少なくなってきたら

必ず、お手入れしてください。

1. カウンター下カバーの固定ねじ(2か所)をプラスドライバーで外します。

2. カウンター下カバー手前側を少し下げ、手前側に引いて外します。

3. 湯側(左)と水側(右)の流量調節栓をマイナスドライバー等で右(時計回り)いっぱいにねじ込みます。

ワンポイント

流量調節栓を閉じると水栓の湯水は止まります。

4. シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側(下)に回します。
※止水されていることを確認します。

5. 大型のマイナスドライバーでストレーナーホルダーを左(反時計回り)に回して取り外します。

6. ストレーナーを取り外してゴミ等を取り除きます。

※湯側と水側、両方のストレーナーをお掃除してください。

7. 取付けは逆の順序で行い、流量調節栓は元の位置まで開きます。

16 照明

※注意事項の詳細はシステムバスルームの取扱説明書をご覧ください。

⚠警告

- 照明器具の分解や改造は絶対に行わないでください。
※感電や火災、ショート、故障の恐れがあります。
- ランプは必ず指定された種類、ワット数のものをご使用ください。
※火災の恐れがあります。
- ランプの交換は必ず電源スイッチを切ってから行ってください。
※感電やショートする恐れがあります。
- 照明カバーやグローブを外したり、破損したままで使わないでください。
※感電したりランプが割れてケガをする恐れがあります。

汚れが目立ってきたら

スポンジ　中性洗剤

1. 照明カバーやグローブの汚れは浴室用合成洗剤(中性)を適量に薄め、やわらかい布やスポンジに含ませてやさしくふきとります。

※硬いものをぶつけないでください。キズが付く恐れがあります。

2. 洗剤が残らないように湿らせた布でよくふきとります。

⚠注意

ダウンライト(LED)のカバーは強く下方向にひっぱったり、回したりしないでください。
※本体が天井から外れてケガをする恐れがあります。

◆照明用ランプのおとりかえ

照明がつかない場合は、ランプが切れていることが考えられます。照明スイッチを切って、次の要領で交換してください。
交換しても照明がつかない場合は、お求めの販売店へご連絡ください。

※ダウンライト(LED)、コーニス照明の場合は、LED照明のためランプ交換はできません。
照明がつかない場合は修理・交換を依頼してください。

ワンポイント

電球形蛍光ランプの使用について
照明器具によって、電球形蛍光ランプが使える場合があります。
以下の手順で確認の上、正しくお使いください。

ソケット
品番表示ラベル

STEP1 お使いの照明器具の品番をご確認ください。照明器具のソケット、またはソケット周辺に品番表示ラベルがあります。

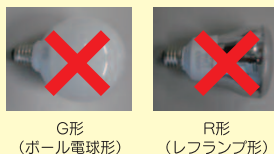
STEP2 ※STEP1の確認結果をマークしておくと、次回のランプ交換が簡単になります。
①円筒形照明、角形照明、ブライト照明、ダウンライトで、品番が「LW－で始まる」照明器具の場合
→白熱ランプまたは蛍光ランプをお使いください。
②円筒形照明、角形照明、ブライト照明、ダウンライト、ネオサークル照明で、品番が「EFD－、またはEFA-で始まる」照明器具の場合
→蛍光ランプをお使いください。
③スライス照明で、品番が「LW－で始まる」照明器具の場合
→ミニクリプトンランプをお使いください。
④品番が「LS－で始まる」照明器具の場合
→ミニレフ電球または蛍光ランプをお使いください。

電球形蛍光ランプの種類	ランプの形状	円筒形照明 LW-で始まる照明器具	円筒形照明 EFD-で始まる照明器具	角形照明 LW-で始まる照明器具	角形照明 EFD-で始まる照明器具	ブライト照明 LW-で始まる照明器具	ブライト照明 EFD-で始まる照明器具	ダウンライト LW-で始まる照明器具	ダウンライト LS-で始まる照明器具	ダウンライト EFA-で始まる照明器具	ネオサークル照明 EFD-で始まる照明器具	スライス照明 LW-で始まる照明器具
A形(一般電球形)		○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	× ※現在は、ミニクリプトンランプより蛍光ランプの外形が大きく、グローブと干渉したり影ができるため使用できません。
D形(発光管露出形)		○	○	○	○	○	○	○		○	○	
	発光管の直径が40mm以下 (40mm以下)	○	○	○	○	○	○	○	■	○	○	
	発光管の直径が40mm超 (40mm超)	○	○	○	○	○	○	○		○	×	

○:60W形、E26口金の蛍光ランプが使用可能
■:60W形、E17口金の蛍光ランプが使用可能
※ランプ寸法によっては取り付けできないものがあります。パナソニックパルックボールEFD15EL／12／E17をご使用ください。(2010年1月時点)
×:使用不可(取り付けできません)

電球形蛍光ランプ使用時のご注意
・D形(発光管露出形)、A形(一般電球形)で、60W形(定格消費電力15W以下)、E26口金の電球形蛍光ランプ(梱包箱に「密閉型器具対応」の表示があるもの)をご使用ください。
※梱包箱に記載されている注意事項をよく読みお使いください。
※G形(ボール電球形)、R形(レフランプ形)は使用できません。火災の恐れがあります。
・調光コントローラ、ヒーリングライトの調光機能がついている場合、電球形蛍光ランプは使用できません。
※照明器具が故障する恐れがあります。
・電球形蛍光ランプは点灯後、明るくなるまでに少し時間がかかります。
※故障ではありません。

G形
(ボール電球形)

R形
(レフランプ形)

●壁付照明のランプの交換方法

ここでは壁付照明のランプの交換方法を紹介しています。
その他の照明用ランプの交換方法についてはシステムバスルームの取扱説明書をご覧ください。

※対象の照明は円筒形照明・ブライト照明・角形照明・ネオサークル照明です。
スライス照明はシステムバスルームの取扱説明書をご覧ください。

1 照明スイッチを切ります。

2 グローブを左に回して取り外します。

3 新しいランプに交換します。

(円筒形照明・角形照明・ブライト照明の場合)

⚠警告
指定されたランプ以外(反射形ランプ等)は使用しないでください。
必ず本体表示をご確認ください。
※火災の恐れがあります。

ランプ名称	ランプ品番
ホワイト電球60W形54W	LW100V54W
蛍光ランプ60W形(消費電力15W以下) 形状:A形、またはD形	EFA15EL EFD15EL

(ネオサークル照明の場合)

⚠警告
指定されたランプ以外(反射形ランプ等)は使用しないでください。
必ず本体表示をご確認ください。
※火災の恐れがあります。

ランプ名称	ランプ品番
蛍光ランプ60W形(消費電力15W以下) 形状:D形 (発光管の直径が40mm以下)	EFD15EL
適合ランプ例(2010年1月時点) ・NEC コスモボール ・東芝 ネオボールZ ・パナソニック パルックボール	EFD15EL／12 EFD15EL／13-Z EFD15EL／12

●蛍光ランプはD形(発光管の直径が40mm以下)をお使いください。
D形でも発光管の直径が40mm超のタイプやA形は、照明器具の凸部に干渉し、取り付けることができません。

直径40mm以下
D形

4 グローブを右に回してガタつき、ゆるみのないように取り付けます。

※ブライト照明の場合は、上面が水平になるように取り付けてください。

お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

17 換気扇・暖房機

※商品により形状が異なる場合があります。代表的なお手入れ方法を説明しておりますので、詳しくは各商品に付属の取扱説明書をご覧ください。
※当社以外の換気扇・暖房機については、各機器の取扱説明書をご確認ください。

◆換気扇のお手入れ

当社以外の機器が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、お手入れしてください。

月に1回

1. 電源（分電盤のブレーカー）を切り、フロントカバーを外します。

フロントカバーを引き下げて、バネを狭めながら取り外します。

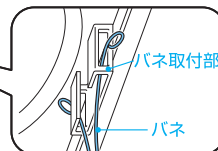
⚠注意

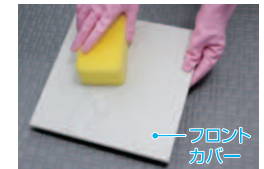
本体内部の羽根等機械部分に無理なカをかけないでください。
※漏電や故障の恐れがあります。

2. フロントカバーの汚れは、ぬるま湯に浸してかたく絞った布でやさしくふきとります。

3. 本体の汚れは、適量に薄めた浴室用合成洗剤（中性）を含ませ、かたく絞った布でやさしくふきとります。
その後、乾いた布で洗剤が残らないようにふきとります。

※羽根にホコリ等が付いている場合は、細いすき間ブラシ等で取り除きます。（羽根等の部品に力をかけないようご注意ください。）

4. フロントカバーのバネを狭めながら、バネ取付部に差し込み、フロントカバーを押し上げて取り付けます。

汚れが目立ってきたら

1. 運転を停止し、フロントカバーを外します。
2. 浴室用合成洗剤（中性）を適量に薄め、やわらかい布やスポンジに含ませて、やさしくふきます。
3. 湿らせた布で洗剤をふきとります。
4. フロントカバーを元通りに取り付けます。

※フロントカバーは確実に取り付けてください。

◆換気乾燥暖房機のお手入れ

当社以外の機器が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、お手入れしてください。
※フロントカバーやフィルターにホコリ等がたまると性能が低下します。（フィルターがない場合もあります。）

1. 運転を停止し、吹出口周辺が十分冷めるまで待ちます。
2. フィルターの取っ手を引っ張り、取り外します。

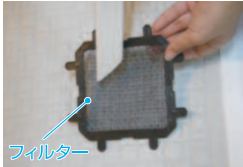
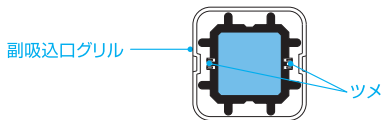
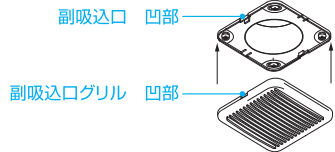
3. ホコリ等を掃除機で吸い取ります。

4. フロントカバーやリモコンの汚れを、ぬるま湯に浸してかたく絞った布でやさしくふきとります。

5. フィルターを元通りに取り付けます。

浴槽 / 風呂フタ / 追いだき口（循環口） / 浴槽排水口 / 浴槽機器 / 床 / 天井 / 壁 / 床排水トラップ / 浴槽下 / ドア / 鏡 / 握りバー スライドバー タオル掛 / 収納部 カウンター / 水栓 / 照明 / 換気扇 暖房機

換気扇・暖房機

お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

●副吸込グリルのお手入れ（2室・3室換気乾燥暖房機の場合）

必ず、お手入れしてください。

1. 副吸込口グリルを両手でゆっくり取り外し、フィルターを取り外します。

2. ホコリ等を掃除機で吸い取ります。副吸込口グリルの汚れはぬるま湯に浸してかたく絞った布でやさしくふきとります。

3. フィルターを副吸込口グリルのツメにセットし、取り付けます。

4. フィルターをセットした副吸込口グリルの凹部分を、副吸込口の凹部分に合わせて取り付けます。

1. 運転を停止し、吹出口周辺が十分冷めるまで待ちます。
2. フィルターの取っ手を引っ張り、取り外します。
3. 浴室用合成洗剤（中性）を適量に薄め、フィルターを浸してやさしく洗います。

4. フロントカバーやリモコンの汚れを、適量に薄めた浴室用合成洗剤（中性）を含ませ、かたく絞った布でやさしくふきとります。

5. フィルター・フロントカバー・リモコンに洗剤が残らないように、湿らせた布でふきとります。
6. フィルターを元通りに取り付けます。

浴槽
風呂フタ
追いだき口（循環口）
浴槽排水口
浴槽機器
床
天井
壁
床排水トラップ
浴槽下
ドア
鏡
握りバー スライドバー タオル掛
収納部 カウンター
水栓
照明
換気扇 暖房機

よくあるお問い合わせ

取扱説明書の「よくあるお問い合わせ」もあわせてご覧ください。

■ 追いだき口(循環口)

Q	A		参照ページ
お湯が沸かない!(時間がかかる)	循環口のフィルターが目詰まりしていないか確認	循環口のフィルターをお掃除します	P14
沸きあがり温度が設定とずれてしまう	循環口カバーが正しく固定されているか確認	循環口カバーを正しい位置に固定します	P14

■ 浴槽排水口

Q	A		参照ページ
お湯がたまらない(翌朝浴槽のお湯が減っている)	排水栓、排水コアが正しく取り付けられているか確認	排水栓、排水コアを正しく取り付けます	P15〜P16
排水に時間がかかる	排水栓、排水コアにゴミがたまっていないか確認	排水栓、排水コアのお掃除をします	P15〜P16
プッシュワンウェイ排水栓の動きが悪い	プッシュワンウェイ排水栓の押ボタンが汚れていたり、ゴミがたまっていないか確認	プッシュワンウェイ排水栓の押ボタンをお掃除します	P16

■ 床

Q	A		参照ページ
床の一部に水が残り流れない	床に汚れが付いている可能性があります	モザイクパターンの場合は床のお掃除、それ以外の場合は大きな水滴をふきとります	P17
洗い場のコーナー付近に黒ずんだ汚れが付いて、洗剤では取れない	(モザイクパターン)汚れが細部に入り込んでしまった可能性があります	先割れ加工の浴室用ブラシを使ってかき出すようにお掃除します	P17

■ 床排水トラップ(共通)

Q	A		参照ページ
洗い場に流した水がなかなか排水されない	排水トラップ、またはヘアキャッチャーの目詰まりがないか確認	排水トラップまたはヘアキャッチャーのお掃除をします	P20〜P24
排水トラップから異臭がする	封水筒等の部品が外れている、または汚れていないか確認	封水筒等の部品を正しく取り付けます。またはお掃除します	P20〜P24
	排水トラップ内にゴミや汚れがたまっていないか確認	排水トラップ内のゴミを取り除き、汚れていればお掃除します	P20〜P24
浴槽の排水の際、ゴボゴボ音がする	浴槽の排水等により起こる一時的な現象です	異常ではありません	P20

■ 床排水トラップ(くるりんポイ排水口)

Q	A		参照ページ
うず流が発生しなくなった	ヘアキャッチャー、整流リング、Y字パイプが正しく取り付けられていない。または浴槽排水口(排水コア)が目詰まりしている可能性があります	ヘアキャッチャー、整流リング、Y字パイプを正しく取り付け、浴槽排水口をお掃除します	P20〜P24
排水直後はうず流が発生しても、しばらくするとなくなってしまう	異常ではありません	排水直後に発生するうず流によりゴミをまとめる効果は得られますので、問題はありません	P20〜P24

■ ドア

Q	A		参照ページ
ドアが閉まらなくなった	下枠カバーが正しく取り付けられているか確認	下枠カバーを正しく取り付けます	P31〜P34

■ 水栓

Q	A		参照ページ
流量が少なくなった	ストレーナーにゴミがたまっていないか確認	ストレーナーをお掃除します	P41
吐水温度がうまく調節できない	ストレーナーにゴミがたまっていないか確認	ストレーナーをお掃除します	P41
シャワーの流量が少なくなった	シャワーヘッドの散水板の穴がつまっていないか確認	散水板の穴をお掃除します	P40

■ 照明

Q	A		参照ページ
照明が点灯しなくなった	ランプがソケットに正しく、しっかりはまっているか確認	ランプをソケットにしっかりはめます	P44
	ランプの寿命が切れている可能性があります	ランプを交換します ダウンライト(LED)またはコーニス照明の場合は、修理・交換を依頼してください	P43

■ 換気扇

Q	A		参照ページ
フロントカバーが外れそう	フロントカバーが正しく取り付けられているか確認	フロントカバーを正しく取り付けます	P45〜P48
運転中に異常音や振動がする	換気扇やフロントカバーが正しく取り付けられているか確認	フロントカバーを正しく取り付けます。換気扇にガタつきがある場合は修理を依頼します	P45〜P48

上記の対応をしても直らないときはお問い合わせ、または修理をご依頼ください。
(P.52「修理を依頼されるとき」参照)

使い方、お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせ先

お客さま相談センターに連絡してください。

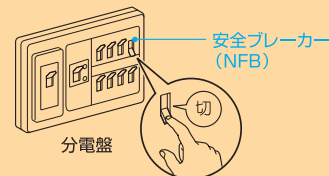
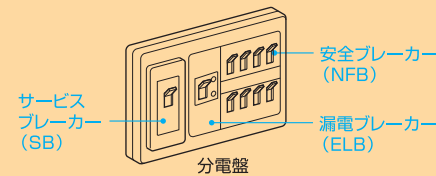
お客さま相談センター
TEL 0120-1794-00
FAX 0120-1794-30

受付時間　平日　9:00〜18:00
土日・祝日 9:00〜17:00 (夏期、年末年始の休みは除く)

このような場合は、修理を依頼してください。

部　位	現　象	対応方法	連絡先
排水栓	排水栓、排水コアを正しく取り付けても、浴槽にお湯がたまらない(翌朝、お湯が減っている)	ゴム栓、またはプッシュワンウェイ排水栓(密閉栓)を交換します。→取扱説明書、「交換部品のご案内」をご覧ください。	販売店でお求めください ※(株)INAXメンテナンスによる宅配サービスもご利用ください。
	ゴム栓の玉くさり取付部がとれた	使用を中止して修理を依頼してください。※放置すると漏水の恐れがあります。	販売店または(株)INAXメンテナンス
壁・天井・床	シリコンが切れている。はがれている	使用を中止して修理を依頼してください。※放置すると漏水して、家財等を濡らす原因になります。	販売店または(株)INAXメンテナンス
壁・床のタイル	タイルに割れ、欠け、キズが生じている	使用を中止して修理を依頼してください。※放置するとケガをする恐れがあります。	
ド　ア	ドアの透明面材が割れた	使用を中止して修理を依頼してください。※放置すると浴室外に水や湿気がもれて漏水し、家財等を濡らす恐れがあります。	販売店または(株)INAXメンテナンス
	施錠してないのにとびらが開かない、閉まらない	修理を依頼してください。	
アクセサリー類	鏡が割れた	使用を中止して交換を依頼してください。※放置するとケガをする恐れがあります。	販売店または(株)INAXメンテナンス
	鏡上部のシリコンが切れている 鏡固定金具が動いている	修理を依頼してください。	
	握りバー、シャワーフック、タオル掛等がグラつく	使用を中止して修理を依頼してください。※放置すると漏水して家財等を濡らしたり、ケガをする恐れがあります。	
水　栓	ハンドルを回しても吐水口から湯水がポタポタ落ちて止まらない	使用を中止して修理を依頼してください。	販売店または(株)INAXメンテナンス
照　明	照明カバーやグローブ、本体が割れたり変形している	使用を中止して修理・交換を依頼してください。※放置すると感電や故障の恐れがあります。	販売店または(株)INAXメンテナンス
	照明がチラつく		
換気扇・暖房機	振動や異常音、異臭(こげくさい等)がする	直ちに停止ボタンを押して運転を終了させ、分電盤のブレーカーを切って、修理を依頼してください。(詳しくは各機器の取扱説明書をご覧ください)※放置すると火災や感電、ケガをする恐れがあります。	(換気扇)販売店または(株)INAXメンテナンス (暖房機)各暖房機メーカー ※暖房機の取扱説明書をご覧ください。
	換気扇・暖房機に異常を感じたら		

⚠警告

浴室周辺で異臭や異常音がする場合は、電気器具のスイッチおよび分電盤の安全ブレーカーを切り、すみやかに修理をご依頼ください。
※異常のまま運転を続けると火災や漏電の恐れあります。

浴室の電気器具とつながった分電盤のブレーカーが作動した場合は、使用を中止し、すみやかに修理をご依頼ください。
※浴室の電気器具等に異常のある恐れがあります。作動したブレーカーを入れ直してご使用を続けた場合、火災や漏電等の重大故障の恐れがあります。

修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書および、取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店または(株)INAXメンテナンスに修理をご依頼ください。

保証期間中の修理	保証期間経過後の修理
保証期間内は保証書(取扱説明書に掲載)の規定に従って修理させていただきます。	修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって有料で修理いたします。料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

ご連絡いただきたい内容

1. おなまえ・おところ・電話番号
2. 商品名・品番　←取扱説明書の表紙裏ページの「対象品番の見方」参照
3. 管理ナンバーシールの番号　←取扱説明書の表紙裏ページの「品番を調べるには」参照
4. 取付年月日
5. 故障内容・異常の状況(できるだけ詳しく)←P.49の「故障かな?と思ったら」参照
6. 訪問ご希望日

※事前にご確認のうえ、メモ等を取ってご連絡いただくとスムーズです。

修理の依頼先・アフターサービスについてのお問い合わせ先

お求めの販売店 または (株)INAXメンテナンスに連絡してください。
●お求めの販売店
●(株)INAXメンテナンス　修理受付センター　365日受付&修理

TEL 0120-1794-11 受付時間9:00～20:00
FAX 0120-1794-56

ホームページアドレス　**http://www.i-mate.co.jp**

交換部品の購入方法

交換部品の名称と品番をご指定ください。　※詳しくは取扱説明書「交換部品のご案内」をご覧ください。

●販売店等で購入される場合
当社商品の販売店でお求めください。
●宅配サービスをご利用される場合
(株)INAXメンテナンス宅配サービスにて承ります。
(宅配サービスには送料が別途必要となります。)

TEL 0120-00-1794 受付時間9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

※ご必要になりました部品品番やその他ご不明点につきましては、裏表紙のお客さま相談センターにお問い合せください。